

大会宣言(案)

全道から参加した多くの仲間とともに、ここに第68回全道身体障害者福祉大会登別大会を盛大に開催することができました。

北海道身体障害者福祉協会は、時代に応じ、障がいのある仲間の要望を受け、様々な活動を展開してきました。さらに、重要な指針であるユニバーサルデザインの街づくりと心のバリアフリーを柱に立案された「ユニバーサルデザイン2020行動計画」をもとに、誰もが暮らしやすい共生社会の実現に向けて関連施策の完全実施をめざし行動していきます。

そして、障がい理解に向けた一連の社会の流れが2020年を経過点とすることなく、多くの人々、多くの団体、関係機関、企業とともに、オリンピック・パラリンピックのレガシーとして継承されることを求めてまいります。

こうしたことに、ひとりひとりが意識して行動を起こすことを私たちの役割とし、互いにつながり、支え合う社会文化の定着へと動かしていきましょう。

北海道身体障害者福祉協会に結集する私たち障がいのある人々は、障害者権利条約の精神「私たちのことを、私たち抜きに決めないで」をもって、全国の仲間とともに強い連携のもと、一致団結し行動することを誓い、ここに宣言します。

令和元年10月6日

第68回全道身体障害者福祉大会登別大会

大会決議（案）

- 1 障がいの社会モデルの理解啓発を道内全域で強く推進しよう
- 2 北海道に根ざした心のバリアフリーを広げよう
- 3 災害時における被災者支援の充実を図ろう
- 4 障がい者差別を禁止する条例を北海道に制定させよう
- 5 地域の相談支援体制に身体障害者相談員を活用しよう

令和元年10月6日

第68回全道身体障害者福祉大会登別大会